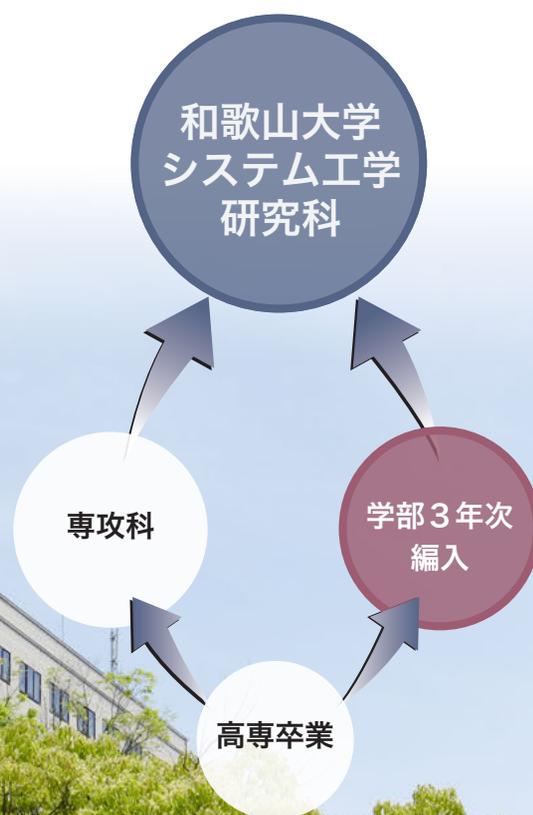


高専で学んだすべてが
最先端の研究に
活か
きる



1 専攻がもたらす分野融合によって
社会環境の変化や多様化する産業技術に即応できる
自由度の高い専門性を育成します

本研究科は、情報系・電気系・機械系・材料系・建築系・環境系・デザイン系などの多様な分野から構成される1専攻の下、日常的な教育・研究を実施する場として9つの「クラスタ」を設定しています。各クラスタは複数分野から構成されたダイナミズムをもった単位であり、他分野の考え方や視点を取り入れた新しい発想にもとづく分野横断型の研究を支えています。

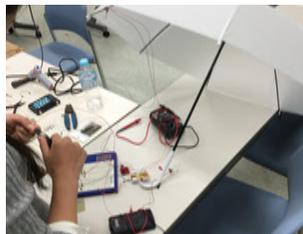
高専出身者の活躍

先進的な研究を通して得られる『新しい知見』が、高専で身につけた『形にする力』と結びつくことで、社会に広く認められる成果へと結実しています。

OGIS-RI Software Challenge Award 2015 優勝

- 松井真子さん | デザイン科学クラスタ / 奈良高専 情報工学科卒
 今村美聡さん | コミュニケーション科学クラスタ / 群馬高専 電子情報工学科卒
 濱上宏樹さん | コミュニケーション科学クラスタ / 神戸高専 電子工学科卒

傘とIoTと組み合わせ、スマートフォンを操作することなく雨の日の外出を楽しむ作品「雨音傘」を提案しました。高専時代の知識に加え、学習成果や研究室で得た知識と経験を最大限に活用しました。三人とも本学大学院に進学しています。



VOICE
松井真子さん

和歌山大学に進みたいと思ったきっかけを教えてください。

「これからのエンジニアにはデザインの知識が必要」という言葉に感銘を受けたことがきっかけです。でも、デザイナーになりたいわけではなかったので、今まで高専で学んだ情報工学の知識を活かせる学科に進みたいと考えました。

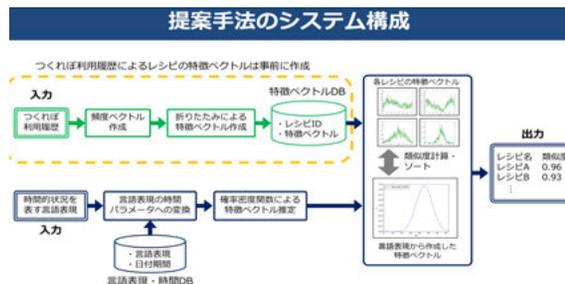
どのようなところに、高専との違いを感じますか？

クラスがないことや授業毎に勉強する場所が違うことです。また、自主演習やクリエという部品や設備を借りれる施設もあります。授業時間以外にも、自分が学びたい・作りたいと思ったことが単位になるので、勉強する意欲が湧きます。

IDR ユーザーフォーラム 2016 優秀賞受賞

桐本宙輝さん | システム知能クラスタ / 奈良高専 情報工学科卒

料理レシピのような永続性が高い情報をユーザが利用する際の時間特性を利用して、指定された時間的狀況下で調理されたレシピを、時間表現で検索するための新しい手法を提案し、もっとも優れた発表に与えられる優秀賞を受賞しました。この受賞により桐本さんはシステム工学研究科長賞も受賞しました。



教員メッセージ



吉野 孝 教授 | システム工学研究科コミュニケーション科学クラスタ

私の研究室では、新しいコミュニケーション支援に関するシステムを研究開発しています。これまでも多くの高専出身学生と一緒に、様々なシステムを形にしてきました。大学院は、自分の考えをどんどん実現できる場所です。自分で考えて新しいものを作ることは、エキサイティングな経験です！新しい技術を組み合わせ、日本に、世界に、みなさんのアイデアを発信してみませんか？